

田沢湖図書館 ☎ 43-1307

10休 1日(月)、8日(祝)、9日(振替休館日)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

学習資料館 ☎ 43-3333

10休 1日(月) 8日(祝)、9日(振替休館日)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、31日(月末整理休館)

イベント交流館(新潮社記念文学館) ☎ 43-3333

10休 川端龍子展 会期中のため無休(～11月23日)

学習資料館

新潮社から寄贈された図書を紹介します

「検察 破綻した捜査モデル」村山治／「現代仏教論」末木文美士／「精神論ぬきの電力入門」澤昭裕／「ホテルオークラ 総料理長的美食帖」根岸規雄／「はかぼんさん」さだまさし／「あのころのデパート」長野まゆみ／「脱獄者は白い夢を見る」壇上志保／「復活 ポロネーズ 第五十六番」古野まほろ／「ソロモンの偽証 第1部 事件」宮部みゆき／「タイガーズ・ワイフ」テア・オブレヒト／「原発依存の精神構造」斎藤環／「ひっ」戌井昭／「人生が用意するもの」川上未映子／「正岡子規」ドナルド・キーン／「不法愛妻家」デビット・ソペティ／「奇貨」松浦理英子／「赤猫異聞」浅田次郎／「すべては赤ちゃんのために」山澤清／「東京大空襲 未公開写真語る」／「ドキュメント 東京大空襲」NHKスペシャル取材班／「殉愛 原節子と小津安二郎」西村雄一郎／「謎とき『悪霊』」亀山郁夫／「消えたヤルタ密約緊急電」岡部伸／「地震と噴火は必ず起こる」巽好幸／「ドナルド・キーン著書集 第五巻」ドナルド・キーン／「めぐみと私の35年」横田早紀江／「国難」石破茂

●新潮社文庫新刊も多数寄贈されています。
このほか、たくさんの新着図書が入ってきています。



田沢湖図書館

生保内小学校3年生 みんなで本を借りたよ！！

夏休み明けの暑い1日、生保内小学校の3年梅組・桃組の子どもたちが、国語の授業で図書館に来てくれました。みんな一生懸命に「図書館のなかで工夫しているところを見つける」という課題にチャレンジ。いくつあったのかな？

最後は全員1冊ずつ本を借りて授業は終了しました。常連さんも、初めてのお友達もみんなどんどん利用してね。



【秋に向かって・毛糸玉】

この秋オススメのあたらしい編み物の本、たくさん揃いました。

ちょっとおしゃれに、あたたかく。誰かのために編んでみませんか。

もちろん自分のためにでも…

【和紙の灯りでコンサート】

花田恵さんの秋モチーフの和紙の灯りのなか、安藤満里さんのクラリネットに朗読を交え、詩情豊かなひとときをお届けします

◆10月20日(土) 17:30～ 田沢湖図書館

皆さんでおいでください。(入場無料)

『魔法の力』

仙北市長
門脇 光浩

先日、中川小学校と神代小学校で、「仙北市高齢者輝き表彰」授与式を行いました。輝き表彰は、長く社会活動に励まれた地域の皆さんに感謝の意をお伝えし、益々のご活躍をお願いする顕彰事業(広報では11月号で紹介予定)です。できるだけ多くの方々に祝福をいただきたいと考え、学習発表会の中に組み込んでもらっています。昨年度から立ち上げた制度ですが、自分としては前後で子ども達の発表も見ることができて、二重の楽しみになっています。

中川小学校は、子ども達の可愛い発表に加え、地域の皆さんの発表が最高にぎやかでした。また婦人会のお母さん達の豚汁サービスマもあつたり(時間の都合で、この豚汁を食べられなかったことは返すのが残念)で、地域をあげた素晴らしい学習発表会です。人生の先輩、地域の方々の活躍が、子ども達を元気づけています。

本当に感動的な式典でした。子ども達がステージから呼びかけると、50年前に閉校した3校の卒業生(おじいちゃんやおばあちゃん)達が、それに応え懐かしい校歌を合唱してくれて。あの歌声は、子ども達にとって大きな大きなプレゼントになったと思います。

おじいちゃん・おばあちゃんの声や笑顔には、若者の心を安定させる魔法の力があると言われています。

そう言えば、敬老の日には松木内地域運営体が初めて主催した「敬老を祝う会」でも、皆さんとお話をするうち、ホッとするような、ホカホカ温かさに包まれるような、そんな感じがしました。

この感覚の正体が、自分よりも年長者と一緒にいる安堵感なのか、それとも周囲を気遣い元気を分けてくれる皆さんの人間性に魅せられた結果なのか、はたまた高齢者の魔法だったのか…。

じっくり考えるにはちょうど良い秋の夜長です。

ロケーション だより

かくのだてフィルムコミッション

9月13日(木)と14日(金)の2日間、平成24年度ジャパンフィルムコミッション通常総会に出席してきました。総会開催地は神戸です。日本にフィルム・コミッション(以下FC)を広めた、ひょうごロケ支援Netの田中まささんが勢力的に活動を行なっているエリアで、数多くの映画がこの地から生まれています。神戸といえば、古くから外国文化のあるおしゃれな街のイメージがありますが、実際に街を歩いてみると、山と海に囲まれている自然豊かな街でもあります。

が連携して撮影支援すること、秋田県でも参考になる事例と思いました。

総会終了後はロケ地ツアーに参加し、神戸市内のロケ地を巡りました。徒歩で移動できる範囲に様々なロケーションがまとまっています。新しい建物が多いのですが、古い時代背景にあつた風景も多く残っており、電柱を見えないようにしている所も多いです。様々なロケに対応できることが神戸の強みだと思います。

かくのだてフィルムコミッションが活動しているエリアは、自然・田舎の限られたロケーションですが、仙北市ならではの素晴らしさを全国に発信していきたいと強く感じた総会でした。

(会長 坂本 洋)

かくのだてフィルムコミッション(仙北市観光課内)
☎ 43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>

